

がっこう
学校だより

平成21(2009)年5月1日



に ら り ん

日 輪

へい せい ねん ど がっ ごう
平成21年度 5月号

さつき
草月

ほんこうきょういくもくひょう
本校教育目標

ふれあおう

たの
楽しもう

まな
学びあおう

よこはましりついいだきたしやうがっこう
横浜市立飯田北小学校

こうちやう まきき ひろあき
校長 巻木 博明

さわやかな季節になりました

こう ちやう まきき ひろあき
校長 巻木 博明

入学式を祝福するかのよう満開だった桜も今ではすっかり葉桜に変わり、代わりにつじが正門の脇に彩りを添え、新緑の美しいさわやかな季節となってまいりました。校庭では鯉のぼりが5月の風に高くなびき、周囲の畑ではヒバリがさえずりながら空高く羽ばたいています。

先日の授業参観・学校説明会・学級懇談会には、多くの保護者の皆様にご出席くださり、誠にありがとうございました。1週間遅れの「なかよし遠足」では、5・6年生を中心に曇り空を吹き飛ばすかのように時間いっぱい活動して、楽しい1日を過ごすことができました。早いもので1ヶ月が過ぎようとしています、1年生の皆さんも飯田北小学校の一員としてすっかりとけ込んできました。

自分を高めて、新しい自分に

最初の朝会の時に、「一人ひとりが自分を大切にして、自分を高めて、新しい自分をつくりましょう。」というお話をしました。自分を大切にするということは、周りの友達も大切にするにつながると思います。その上に立って、現在の自分の状況(生活や学習の様子など)を自分なりにしっかりと把握して、色々なことに挑戦(チャレンジ)して、少しでも次のステップに自分を高め、昨日とはちがう新しい自分になれるように努力することだと思います。次のステップを、「めあてや目標」に言い換えても同じことですが、1年生から6年生までの発達段階を考えると、低学年と高学年とでは内容的に質的に違いがでてくるのは当然のことだと思います。

学校力を高めます

子どもたち一人ひとりが自分を高め、新しい自分をつくるために、今年度一年間色々なことに挑戦し努力する代わりに、私たち教職員は子どもたちの色々な活動を様々な角度から指導・支援していきます。

一人ひとりの子どもは、「かけがえのない存在、よりよく生きていこうとする存在」であるという子ども観に立って、「ふれあおう 楽しもう 学びあおう」と、「人間性豊かな子どもを育てます」「自ら学ぶことのできる子どもに育てます」の学校教育目標を掲げています。

教育指導の方針として、学力の定着を目指して、子どもたちにとって、学ぶことの楽しさや意義が感じられるような教育を実現するために、次のことに努力します。

・授業の改善に努めることで、まずは「わかる授業」を展開することだと思います。

- ・そのために、私たちが教師の資質・能力を高めること。
 - ・家庭や地域の理解・協力を得られるように努めること。などです。
- そのための、具体的な方策として、

- ①「全校児童一人ひとりを、全教職員で見守り、育てよう」を合い言葉に、全教職員が一丸となって、同一歩調で子どもたちの指導にあたります。各学級とも副担任制をしき多くの目で子どもたちを見ることにより、担任と副担任が連携協働して、きめ細かな指導ができるように努めます。
- ②「国語科」を窓口にして、研究・研修を行い、授業改善に努めます。国語科の研究4年目の今年度は、過去3年間の実績を踏まえて、「思いや考えを進んで伝え合おうとする子の育成」をテーマに掲げ、研究が深まることによって子どもたちの表現力等が向上するように努めます。
- ③次のような本校の特色ある教育活動を推進していきます。
 - 外国につながる児童が多く在籍する学校としての特色を活かした国際理解教育を進めます。
 - コンピュータを中心とした情報機器の操作や図書資料などを活用して、情報活用能力の育成に努めます。
 - 農園での栽培活動・ボランティアの方々の協力など、地域の教育力を活用させていただきます。
- ④地域との連携も深めて、信頼される学校づくりに努めます。

このような教育活動を地道に継続していくことで、自ずと本校の「学校力」も高まるものと確信します。

5月は「赤十字運動月間」です

赤十字の歴史は、1859年にスイスのアンリー・デュナンがイタリア統一戦争の激戦地、ソルフェリーノにおいて、人道的見地から敵味方の区別なく、傷病者を救助したことから始まりました。そして、このアンリー・デュナンの考えから赤十字思想が誕生し、今年で150周年を迎えました。

ところで、私たちの飯田北小学校は、日本赤十字社神奈川支部の青少年赤十字に加盟して9年目になります。青少年赤十字の目的は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会、世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することです。

このために、次のような3つの実践目標を提示しています。

- 1 健康・安全・・・生命と健康の大切さを学び、人間尊重の精神を養う。
 - 2 奉仕・・・人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行する。
 - 3 国際理解・親善・・・広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。
- 青少年赤十字では、児童・生徒が自主的で、自律した生活態度を養うために、

「気づき」 「考え」 「実行する」

という態度目標を掲げています。※青少年赤十字基本方針等より抜粋しました。本校の長年の取り組みは、3の「国際理解・親善」に該当しています。この間に平成14・15年度は、「豊かなかわり合いを通して、共に学び共に生きる喜びを感じられる子どもの育成・自分の国や友達の国を知ろう、みんなに伝えよう、世界の中のわたし みんな地球人～」というテーマを掲げて、神奈川支部青少年赤十字推進校として活動しています。そして、この時の活動が認められて、平成18・19年度は全国青少年赤十字モデル校としての指定を受けました。赤十字運動月間を機に他校に類を見ない本校の取り組みについて、児童・保護者・地域の皆様と共に再確認したいと思います。